



こんなときこそ 声かけあい 手をつなごう

18日(月)からの子どもたち

18日の朝、いつものように7時50分の開門を待って大喜びで下足室へ向かい、教室へ入っていた子どもたち。その直後に地震が発生しました。「運動場にいる教頭先生のところにあつまりましょう。・・・」という放送で、どの子も自分の力で集まりました。校舎内で座り込んだり、泣いたりしている子はいませんでした。よく、がんばりました。通学路を歩いていた子も学校までちゃんと歩いてきました。よく来たとほめました。おうちの方と一緒に登校した子もいました。学校は安全と教えていただいていると思えました。震度5以上でしたので休校としましたが、そうでなくても子どもたちの不安な状況からしたら通常授業が可能と判断できたかなあと感じています。お迎えのご協力ありがとうございました。今回のように公共交通機関が機能しなくなることやおうちの方のお仕事の状況から、お迎えが遅くなることは承知しております。ご厚意から「一緒につれて帰りましょうか?」というお申し出もありましたが、保護者(おじいちゃんおばあちゃんを含む)の引き取りを原則とさせていただきます。連絡がとれた場合には保護者以外のかたの引き取りも可能としたいと思いますが、電話やメールの機能も混乱が予想されます。時間がかかっても、確実にお子さんをお渡しする方法を選択したいと考えています。

現在、全国でコンクリートブロック塀の調査が実施されていますが、本校と六中との間のあいさつロードに面している六中の塀が改修が必要と判断されました。今後工事が行われるかと思いますが、それまでの間、児童にはなるだけ庄内小側を歩くように指導しています。また、六中側には注意喚起のための赤色コーンをおいています。あいさつロードは地域のみなさんも多く利用される道です。ご不便をおかけいたしますがご協力をお願いしてまいります。

18日から子どもたちは余震に備えて教室でも赤白帽をかぶって授業をうけています。それも月曜からはなくします。いざというときは、教科書や上着で頭を保護して行動すると教えます。保護者の方から「家でもすぐに、どこ行くのときくんです。」「寝返りでベットがゆれたら、揺れた!と飛び起きるんです。」ということをかきました。子どもたちは、まだまだ不安な気持ちをかかえながら生活していると思えます。本日、教育委員会からの『こころのケアについて(保護者むけ)』というプリントを配布しました。参考に読んでください。心配な場合は、前回お知らせしたように、本校にスクールカウンセラーが、25日(月)にまいりますのでご連絡いただきましたら個別に相談の時間をとります。大人だって不安なんです。子どもは当然です。こんなときこそ、声かけあい、手をつなごう、安心な生活をとりもどしていきたいです。たくさんのお願いをいただきました。どうぞこれからも、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

水泳指導がはじまります。

大雨もあり、やっと昨日プールそうじができました。5・6年生ががんばってくれました。月曜から水をはい水泳指導を開始しますが、天候にあわせて学年ごとに日を決めて実施します。連絡帳等でお知らせしますので、水着の準備をお願いいたします。

学校メールの登録、ありがとう

ございました!まだの方、プ

リント再配布します。

いつでも

ご連絡を!



